

農作物の被害予想と対策（台風12号）

平成23年9月1日

環境農業推進課
産地・流通支援課

※農薬散布に当たっては、安全使用基準（特に収穫前日数）と農薬の飛散（ドリフト）に注意する

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
1. 水稲 ●普通期稲	出穂期～登熟期	1. 強風、大雨による茎葉の損傷、穂ズレ、倒伏及び冠水。	1. 強風が予想される場合は、事前にはほ場に湛水する。 2. 冠水したほ場は、排水に努めるとともに退水後浅水管理とし、新鮮な水を時々浅く入れ、根の回復を図る。 3. 台風通過直後のフェーン現象の発生により稲体の水分含有率が低下し、白穂や白未熟粒等が発生しやすくなるため、通水による水分補給により稲体の活力維持に努める。
2. 大豆	開花期～着莢期	1. 強風、大雨による茎葉の損傷、倒伏及び冠浸水。	1. 冠浸水したほ場では早期排水に努める。 2. 風水害により病害虫に対する抵抗性が弱まることから、病害虫の発生動向に注意し、適切な防除を行う。
3. 露地野菜 ●ショウガ	生育期	1. 風による茎葉の倒伏と損傷。 2. 浸水による根茎腐敗病の発生。	1. 事前に防風ネットなど防風対策を行う。 2. 浸水、冠水による被害を予め防ぐため、ほ場周辺の排水を良くしておく。根茎腐敗病、疫病の発生がみられたら直ちに防除を行い、被害の拡大を回避する。 3. 倒伏したものは早く引き起こし、茎葉に付着した泥は洗い落とす。 4. 果菜類で被害の大きいスレ果や変形果等は早く摘果し、樹勢の回復を図る。 5. 潮風害を受けた場合は、なるべく早くきれいな水で塩分を洗い流す。
●オクラ	収穫期	1. 強風による茎葉の倒伏と損傷、品質低下（スレ果）。 2. 輪紋病（さく腐病）の発生。	
●シシトウ ●ピーマン ●ナス ●キュウリ	収穫期 収穫期 収穫期 収穫期	1. 風による倒伏、茎葉の損傷。 2. スレ果の発生による品質低下。 3. 浸水による青枯病、疫病の発生。	
●青ネギ ●ニラ ●サトイモ	生育期 生育期 生育期	1. 風による茎葉の損傷。	

※農薬散布に当たっては、安全使用基準（特に収穫前日数）と農薬の飛散（ドリフト）に注意する

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
<p>4. 施設野菜</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ナス ●シシトウ ●ピーマン ●ミョウガ ●メロン ●キュウリ ●ニラ ●小ネギ ●雨よけ野菜全般 	<p>生育期 育苗期 育苗～定植期 栄養生長期(抑制) 収穫最盛期(半促成) 収穫終期(促成) 生育期 育苗期 生育期 生育期 収穫期</p>	<p>1. ハウスのビニール・骨材の破損、倒壊。 2. 茎葉の葉ズレ、倒伏、潮風害、冠水による疫病の発生。 3. ハウス内への浸冠水により、ミョウガでは根茎腐敗病の発生。</p>	<p>1. 事前に施設の補強など防風対策を行う。台風が予報コースを北上した場合には、北東又は北風が強まることが予想されるため、東サイド、北妻面に十分補強する（補強方法は「こうち農業ネット」HP「災害関連」参照）。また、ラックアンドピニオン方式以外の天窓では風で開かないように固定する。 2. ハウス内への浸水対策や周辺の排水対策を十分に行う。 3. 浸水があった場合は、ほ場の排水の迅速化を図るとともに、病害の発生防止のために予防散布を行う。 4. 根茎腐敗病の発生がみられたら、直ちに防除を行い、発病部分を隔離して被害の拡大を回避する。</p>
<p>5. 花き（露地）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キク ●センリョウ ●露地草花 	<p>生育中～収穫期 生育中 生育中～収穫期</p>	<p>1. ほ場への浸水と風による葉ズレ、潮風害、折損、倒伏。</p>	<p>1. 浸水しないように事前の排水対策を行う。浸水した時は排水に努める。 2. 風による被害を防ぐため、防風（防風ネット等）対策を行う。 3. 下葉に泥が付着した場合には、きれいな水で洗い流し、天候の回復を待って薬剤散布を行い、病害の発生を予防する。 4. 倒伏したものは、速やかに引き起こし、再度倒れないように管理する。 5. 潮風害を受けた時は、なるべく早くきれいな水で塩分を洗い流す。 6. 事前に施設の補強など防風対策を行う（センリョウ）。</p>
<p>6. 花き（施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ユリ ●ソリダスター ●宿根アスター ●グロリオサ ●洋ラン ●ブルースター ●トルコギキョウ 	<p>収穫期、球根養成中 生育中 生育中 生育中 生育中 生育中 育苗～生育中(平坦部) 収穫期(山間部)</p>	<p>1. ハウスのビニール破損、倒壊。 2. 浸・冠水による疫病、立ち枯れ病の発生。 3. 強風による葉ズレ、折損、倒伏、品質低下。</p>	<p>1. 事前に施設の補強などの防風対策を行う。 2. 茎葉に泥などが付着した場合には、きれいな水で泥を洗い流し、天候の回復を待って薬剤散布を行い、病害の発生を予防する。 3. ほ場に雨水が入った場合には、疫病の防除を行う（ユリ）。</p>

※農薬散布に当たっては、安全使用基準（特に収穫前日数）と農薬の飛散（ドリフト）に注意する

農作物名	生育ステージ	被害予想	対策
7. 施設カンキツ ●温州ミカン	果実成熟期～収穫期 ～収穫終了	1. ハウスのビニール並びに本体の破損。 2. 果実への褐色腐敗病の多発。	1. 事前に施設や防風垣の補強など防風対策を行う。 2. 排水対策。 3. 強風によりハウス本体への影響が懸念される場合は、ハウス本体の被害を最小限にするため、ビニールの除去を行う。 4. ビニールの除去や冠水が予想されるほ場では病害の事前、事後対策を行う。
●その他の晩柑類	果実成熟期～収穫期	1. ハウスのビニール並びに本体の被害。 2. かいよう病、褐色腐敗病の多発。	
8. 露地カンキツ ●温州ミカン	果実肥大期	1. 果実、枝葉の損傷、潮風害等。	1. 事前に防風垣の補強、幼木へ支柱を立て固定、排水対策などを行う。 2. 通過後は樹体倒伏があれば、露出した根が乾燥しないうちに起こして株元へ土寄せをする（かえって根を傷めないように注意）。 3. 枝折れしたものは、なるべく早く切除し、切口に保護剤を塗布する。 4. 潮風害を受けた場合は、速やかにきれいな水で塩分を洗い流す。
●その他の柑きつ類	果実肥大期	1. 果実の落果。 2. 果実、茎葉の損傷等。 3. かいよう病の多発。	1～4. 同上 5. かいよう病対策として、事前にはボルドー液、事後にはマイシン類による防除を行う。
9. 落葉果樹 ●クリ ●ナシ ●カキ ●ブドウ ●スモモ	収穫期 果実成熟期～収穫期 果実成熟期 収穫終期 収穫後	1. 果実の落果。 2. 枝折れ、枝葉の損傷等。 3. 棚の倒壊。	1. 防風垣の補強、排水対策を行う。 2. ナシ、ブドウ、スモモは棚の補強、ナシは果実の棚への固定など落下対策を行う。 3. 収穫間近の果実は、早めに収穫する。 4. 台風通過後は上記（露地カンキツの2、3、4）に準じる。 5. 病害の発生防止のため、薬剤を早めに散布する（収穫前日数に留意）。